

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成20年11月12日(水) 6校時
児 童 2年A組 男18名女12名計30名
指導者 熊谷 潤

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう
- 2 教材名 「サンゴの海の生きものたち」(光村2年上)

3 単元の指導目標

- 【関心・意欲・態度】 海の生き物の共生関係や、説明文の組み立てに興味をもって読む。
- 【書くこと】 自分の調べたい海の生きものについて、本で調べたことをカードにまとめる。
- 【読むこと】 「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。
- 【言語事項】 主語と述語を見つける。

4 単元について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元では、内容イ「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」と深く関わっている。

本教材は、「初め・中・終わり」という基本的な説明文の構成である。本教材には、問いかけの文があることや時間の流れではない具体例が2例記述されていることなどの点で、一学期に学習した「たんぼぼのちえ」と大きく異なる。教材文を正確に理解するには、具体例に示される生きものたちの相互の関係について、丁寧に読み取っていく必要がある。筋道を立てて考えようとする思考が大きく成長してきた2年生の児童にとって、適した教材であるといえる。

児童は、サンゴのきれいな海を舞台に生き生きと生活する生きものたちのかかわり合いを通して、海の生きものたちの知恵に驚き、親しみをもって取り組むであろうと考える。そして、他の生きものたちはどうなのか調べてみようという意欲につなげ、それを自分なりにまとめる学習を通して、読み取ったことをより深めることができるであろうと考える。

5 児童の実態

児童は、前学年で、文章の問いかけに答える簡単な形式の説明文を学習した。一学期には、説明文「たんぼぼのちえ」で、まとめの部分のある形式の説明文を学習した。児童の多くは、たんぼぼの様子の変化に驚き、親しみをもって正確に理解することができたが、様子の変化やその理由を読み取ることも、それが「たんぼぼのちえ」であるという比喩を理解することができない児童も少なからずいた。児童は、よく本を読み、様々な知識や考え方を意欲的に吸収しているが、文章の理解の程度や筋道を立てて理解しようとする様子には、個人差が大きい。文章をよく検討しないで直感的に内容を把握しようしたり、それまでに得ていた知識が優先してしまったりする児童も少なくない。また、聞いたことを理解しながら、聞いた内容に従って学習することが難しい児童もいる。

6 指導にあたって

「つかむ」段階では、海の生きもの図鑑を作ることを目的に教材文を読むことを予告し、児童たちに本単元の見通しを持たせる。教材文の冒頭では、「どんな生きものたちが、どのようにかかわり合っているのか、本文がその先で述べようとしていることが問いの文として明示されている。物事を直感的に理解しがちな児童にとっては、「かかわり合う」という言葉についての理解が難しい部分があるので、丁寧に授業を進めたい。

「たしかめる」段階では教材文を読む。とくに、主述の明確な照応が、文章の明確な理解につながると考える。具体例を示す段落では2種の生きものの中で互いに有益的に作用しあっている例が2例示されているが、2例とも互いの関係をまとめる文が直接的には示されていないので、両者の関係を十分に理解できない恐れがある。どの生きものが相手に何をしていたり何をしてもらっているのかを示す文を写真と照応させたり、その様子を動作化したりする作業を通して確実に理解させたい。本教材において、問いと答え、まとめを併せもつ一般的な形式の説明文を初めて学習することになる。文章を構造的に読み取ることの良さに気づかせたい。

「ひろげる」段階では、学習したことをもとに、海の生きもの図鑑を作り発表する。

7 指導計画と評価規準

段階	時間	学習活動	評価規準 【】 評価の観点 () 評価方法
つかむ	1	学習の見通しをもつ。 ・ 題名や写真からイメージを広げる。 ・ 判読を聞き、初発の感想をもつ。 ・ 学習の進め方を確認する。	【関】興味をもって読み、写真をよく見て気づいたことを発表したり、書いたりしている。 (発言、ノート)
	2	・ 音読する。 ・ 形式段落に番号をふる。 ・ 新出漢字の練習をする。	【関】意欲をもって音読している。 (観察)
たしかめる	3	形式段落①～②を読み取る。 ・ 問いの文を見つける。たがいに役に立つ、かかわり合うということはどういうことなのかをつかむ。	【読】問いの文を見付け、学習課題をつかんでいる。 (発表・ノート)
	4	形式段落③～④を読み取る。 ・ イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取る。	【読】イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取っている。(ワークシート、発表)
	5	形式段落⑤～⑥を読み取る。 ・ イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取り、まとめる。	【読】イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取っている。 (ワークシート、発表) 【言】どんな生き物がどんなことをしているのかを把握している。 (ワークシート、発表)
	6 本時	形式段落⑦～⑨を読み取る。 ・ ホンソメワケベラの特徴や大きな魚とのかかわり合いを読み取り、まとめる。	【読】ホンソメワケベラの特徴や大きな魚とのかかわり合いを読み取っている。 (ワークシート、発表)

	7	形式段落⑩を読み取り、全体を振り返る。 ・ まとめの段落であることを確認し、全体を振り返る。 ・ 本文を読み終えての感想を書く。	【読】本文を振り返り、問いと答えをまとめている。(ワークシート、発表)
ひろげる	8	海の生きものについて調べる。 ・ 海の生きものずかんをつくる手順を知る。 ・ 自分の調べたい海の生きものについて、本で調べる。	【書】初めて知ったことや教えたいことを考え、カードに書いている。(カード・発表)
	9	自分の調べた海の生き物をカードに書く。	
	10	自分の調べた海の生きものについて紹介し合う。	

8 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・【読むこと】 ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取ることができる。

(2) 本時の具体的評価規準

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する児童への手立て
何がどんな行動をしているのかを的確に読み取り、その行動が互いに役に立っていることを書いている。	何がどんな行動をするのかを読み取り、互いにかかわり合っていることを書いている。	友達といっしょに動作化に参加させる。板書や動作化したときのことを振り返って考えさせる。

(3) 本時における書く活動の位置づけ

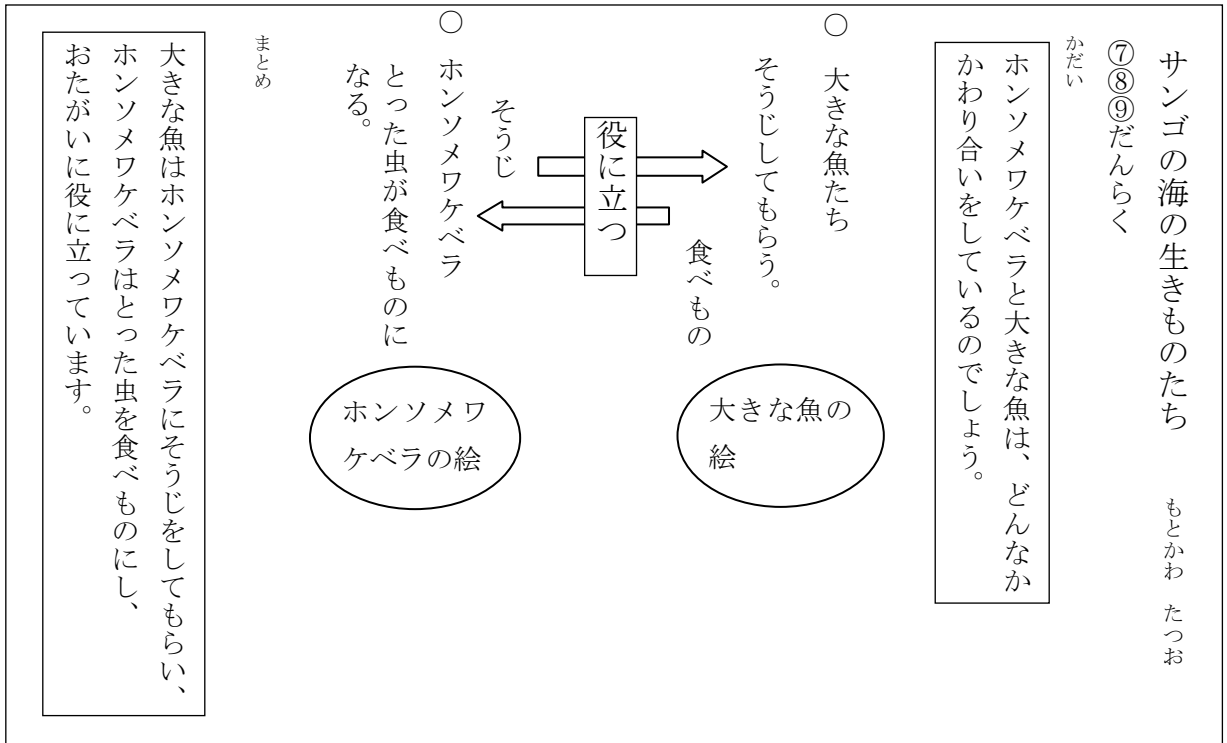
ホンソメワケベラと大きな魚、それぞれの行動の意味を示す箇所にサイドラインを引くことで、それをよりどころに話し合いながら、自分の考えを確かなものにした上で、ワークシートにまとめる。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点と支援 (☆評価)
つかむ 5分	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習活動を確認する。 (1) 学習範囲を音読する。 (2) 課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ イソギンチャクとクマノミの関係が問いに対する答えの1つだったことを確認する。 ・ どんな生き物が出てくるかについて確かめる。 ・ かかわり合うことが互いに役に立っている関係にあることを押さえる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ホンソメワケベラと大きな魚はどんなかかわり合いをしているのでしょうか。 </div>	
深める 30分	3 見通しをもつ (1) 読みの視点を持たせる。 (2) 学習する段落を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホンソメワケベラの行動と大きな魚の行動を分けて考えさせながら、聞かせる。 ・ 指名読み

	<p>4 課題解決をする</p> <p>(1) ホンソメワケベラの体の特徴について読み取る。</p> <p>(2) 大きな魚の行動を読み取る。</p> <p>(3) ホンソメワケベラの行動を読み取る。</p> <p>(4) 大きな魚とホンソメワケベラの間係をつかむ。</p> <p>5 学習したことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⑦段落を音読する。 ・ ホンソメワケベラの体の特徴にサイドラインを引く。 ・ 記述と写真を比べ、写真を指差す。 ・ ホンソメワケベラの特徴を確認するとともに、大きさを手で作らせる。 ・ ⑧⑨段落を音読する。 ・ ホンソメワケベラが大きな魚の口の中に入っても、食べられないわけについて、大きな魚の立場から読み取る。 ・ 大きな魚がホンソメワケベラを食べない理由が書かれている箇所にサイドラインを引く。 ・ 主述を確かめながら、内容を確認する。 ・ ホンソメワケベラが大きな魚の体や口の中を掃除する理由が書かれている箇所にサイドラインを引く。 ・ ホンソメワケベラの行動が、ホンソメワケベラ自身の役に立っていることを確かめる。 ・ それぞれの立場の気持ちを吹き出しに書く。 ・ 書いたことを言い合いながら、動作化する。発表☆ホンソメワケベラと大きな魚がどのようにかかわり合っているかを読み取ることができる。(観察、ワークシート) ・ 学習をふりかえりながら、まとめる。 ・ まとめを視写する。
<p>まとめる 10分</p>	<p>6 学習内容を振り返る</p> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価の欄に児童各自の評価を書き込む。
<p>大きな魚はホンソメワケベラにそうじしてもらい、ホンソメワケベラはとった虫を食べものにし、たがいに役に立っています。</p>		

(5) 板書計画



添付1 本時のワークシート

サングの海の生きものたち
学しゆうするところ ⑦⑧⑨
かだい

大きな魚たちは、
ホンソメワケベラと 大きな魚たちは、
どんなかかわり合い をしているのでしょうか。

「いつも、体をそうじ
してくれて、ありがとう。」
などの ホンソメワケベラとの
かかわりについての 表現。

「いつも、食べものを
くれて、ありがとう。」
などの 大きな魚たちとの
かかわりについての 表現。

大きな魚たちは、ホンソメワケベラに
そうじをもらい、
ホンソメワケベラは、大きな魚に
食べものをもらい、
おたがいにかわり合っている。

⑦⑧⑨
かだい

大きな魚たちは、ホンソメワケベラにそうじをもらい、ホンソメワケベラはとった虫を食べものにし、おたがいに役に立っています。